

平成30年度

# 事業計画書

社会福祉法人はまなす福祉会

保育所型認定こども園  
大畠中央保育園



**平成30年度  
保育所型認定こども園 大畠中央保育園  
事業計画**

**1. 保育理念**

養護及び教育を一体的に行い、子どもの健やかな育ちを支援し、地域の人々との交流を図り、福祉の増進を図る。

**2. 保育指針**

- (1) 子どもの個性を大切にし、安心して過ごせる保育環境を整備する。
- (2) 地域の人々と関わる中で集団行動のマナーを培う。
- (3) 一人ひとりの保護者の思いを受け止め支援する。
- (4) 発達に応じた活動ができるよう健康な心身の育成を図る。
- (5) 大人や、子どもの関わりの中で信頼関係をつくる。
- (6) 人の話を聞いたり、自分の思いを伝える中で考える力を育てる。

**3. 保育目標**

- (1) 頑張る子
- (2) 仲良くする子
- (3) いっぱい遊ぶ子

**4. 地域環境（本園の特徴）**

近くに、むつ市大畠庁舎・大畠小学校・中央公民館・中島児童館の公共施設が多数あり、街の中心に位置しながらも、海・川・山に囲まれた自然豊かな環境である。園庭も広く、草木や花等を鑑賞しながら、園児の戸外散歩には最適な環境である。

むつ市で初めての保育所型認定こども園としての保育内容は、小学校とのつながりを考えた読み書き・英語・体操・音楽等をゲームや遊びの中に取り入れている。「好奇心の芽」を育てる活動などを積極的に実施し、「知育」「德育」「体育」を基本としたメリハリのある保育活動をしている。また、子ども赤十字活動及び楽器演奏、遊戯披露などで地域に対するボランティア活動を行い、児童の心の成長も高めている。健康面では看護師や栄養士による「家庭生活のあり方」「食生活のあり方」などの実践講座を通して家庭での疾病予防や食生活の援助(相談)なども推進している。

**5. 事業者概要**

施設名	保育所型認定こども園 大畠中央保育園	開設年月日	平成27年4月1日
代表者氏名	理事長 池田由美子	改築年月日	平成14年4月1日
設置主体	社会福祉法人はまなす福祉会	定員	90人(認定こども園関係15人、含)
所在地	〒039-4401 青森県むつ市大畠町中島4-6		
電話番号	0175-34-5100		
メールアドレス	<a href="mailto:hamanoko@aioros.ocn.ne.jp">hamanoko@aioros.ocn.ne.jp</a>		

## 6. 基本事業

○施設の主な行事	○特別保育事業
<p>春：入園式・遠足・交通安全マスコット配布 交通安全教室</p> <p>夏：夕涼み会・ねぶた運行 大畠ふるさとまつり参加・お化け屋敷</p> <p>秋：遠足・運動会・商工会まつり参加、音体フェスティバル参加、おとなり保育、ボランティア受入（大畠中）、ふれあい体験、インターナンシップ（大畠中・大湊高）、</p> <p>冬：お遊戯会・もちつき会・テーブルマナークリスマス会・お店屋さんごっこ・そり遊び 雪上運動会・豆まき集会・体操発表会・卒園式</p>	<p>子育て支援 ぽかぽかルーム 家庭保育児対象 月～金曜日（10：00～15：00）</p> <p>一時保育 一時預かり保育 8：00～16：00 一日 2,100 円 (給食・おやつがでます)</p>

※父母の会役員会にて行事内容の検討

## ○施設概要（居室・外部）

保育室（5）ほふく室（1）遊戯室（1）トイレ（5）特別支援室（1）調理室（1）  
静養室（1）用具室（2）ボイラー室（1）ベランダ（2）ねぶた小屋（1）外小屋（2）

## ○職員配置・嘱託医

職種	人數	職種	人數
園長	1	保育補助員	1
副園長	1	栄養士	1
主任保育士	1	調理士	2
保育士	10	用務員	1
子育て支援員	2	運転手（委託）	1
療育支援員	1	内科医（前田医院）	1
准看護師	1	歯科医（上条歯科）	1
事務主事	1		

一 戊三十年度 行事一覧表 (案)

大畠中央保育園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 日	人式、通式、給食	火	金	日	水	木	土	通会	1 月	木	火 通	金 豆まき会
2 月	水	土	月	火	金	日	2 火 マーチング鑑定	木	水	水	土	火祭
3 火	木	金	日	水	木	月	3 水 木	3 土 女の日	4 木 運動会(火)	木	日 7-アルマ- (W)	日
4 水	練習会	金	月	木	火	火	4 木 運動会(火)	4 土 お通	5 木 月	火	木	月
5 木	土	火	火	水	木	木	5 木 月	6 土 木	7 火 木	火	火	月
6 金	日	水	木	火	木	木	6 土 木	7 火 木	8 土 木	水	水	火
7 土	月	木	火	木	火	火	7 火 木	8 土 木	9 火 木	10 土 木	木	木
8 日	火	金	日	水	木	木	9 土 木	10 土 木	11 火 木	12 土 木	木	木
9 月	父母会員会	水	火	木	木	木	11 木	12 木	13 火 木	14 土 木	火	金
10 火	音楽会	木	通課(火・水)	日	火	金	12 木	13 土	14 土 木	15 日 木	火	火
11 水	體操室、外科診療	金	交通死亡室	月	水	木	13 土	14 土	15 日 木	16 土 木	水	水
12 木	運動会(火)	土	火	木	木	木	14 土	15 日 木	16 土 木	17 土 木	火	火
13 金	日	水	木	火	木	木	15 日	16 土 木	17 土 木	18 土 木	火	火
14 土	入園式振替	月	木	火	木	木	16 土 木	17 土 木	18 土 木	19 土 木	火	火
15 日	火	マーチング指導	金	日	火	火	17 土 木	18 土 木	19 土 木	20 土 木	火	火
16 月	水	土	火	木	木	木	18 土 木	19 土 木	20 土 木	21 日 木	水	水
17 火	マーチング指導	木	新の通	日	火	火	19 土 木	20 土 木	21 日 木	22 月 木	火	火
18 水	運動会、歌劇公演	金	月	水	木	木	20 土 木	21 日 木	22 月 木	23 火 木	水	水
19 木	土	火	木	火	木	木	21 日 木	22 月 木	23 火 木	24 水 木	火	火
20 金	日	水	木	火	木	木	22 月 木	23 火 木	24 水 木	25 木 木	水	水
21 土	月	木	火	木	火	火	23 火 木	24 水 木	25 木 木	26 木 木	火	火
22 日	火	金	木	水	木	木	24 水 木	25 木 木	26 木 木	27 土 木	水	水
23 月	水	木	火	木	木	木	25 木 木	26 木 木	27 土 木	28 日 木	木	木
24 火	木	木	火	木	火	火	26 木 木	27 土 木	28 日 木	29 月 木	火	火
25 水	體操室	金	月	水	木	木	27 土 木	28 日 木	29 月 木	30 火 木	水	水
26 木	體操会、子どもの日集い	土	火	木	木	木	28 日 木	29 月 木	30 火 木	31 水 木	木	木
27 金	運動会(28日)	日	水	木	木	木	29 月 木	30 火 木	31 水 木	31 水 木	木	木
28 土	月	木	火	木	木	木	30 火 木	31 水 木	31 水 木	31 水 木	木	木
29 日	電灯会	火	金	木	水	木	31 水 木	31 水 木	31 水 木	31 水 木	木	木
30 月	体操会	水	土	月	木	木	31 水 木	31 水 木	31 水 木	31 水 木	木	木
31	木											

## 平成30年度 職務分担表

## 大畑中央保育園

NO 1

職名	氏名	職務分担事項	担任
園長	宮木 則男	園業務の総括。人事管理。保育業務、給食業務の管理。職員の指導・助言。行政機関、関係団体、保護者、地域社会との連絡調整。 法人、施設の事務処理。予算の編成と調整配分。現金管理。保健衛生・健康管理及び食中毒防止指導者。評価責任。保育士より作成。	
副園長	宮木みづ子	園長業務の補佐。保育業務（法人全体会の小学校との繋がり：読み書き計算・他）。防災管理。給食業務の管理の補助。職員の指導・助言。行政機関、関係団体、保護者、地域社会との連絡調整。予算の編成と調整配分補助。保健衛生・健康管理及び食中毒防止指導者。災害時ににおける避難責任者（非常食・非常工具・避難経路など）。園の保安点検衛生管理・安全計画の立案及び指導（安全点検担当）。	ひよこ 0歳児
主任保育士	菅原 美幸	保育指導計画の立案、制作、指導。特別の行事に関する計画の作成、指導。行事に対する手紙作成。職員研修計画の立案、器楽指導補助。一時預かり担当。初任者指導担当。	
保育士	青山 瞳子	りす組（1歳児）の運営・管理・指導。	りす 1歳児
保育士	宮下 弘子	めばえ組（2歳児）の運営・管理・指導。	めばえ 2歳児
保育士 (副主任)	北上あゆ子	虹組（5歳児）と3歳以上児の運営・管理・指導。器楽指導補助。	虹 5歳児 以上
保育士 専門リーダー	井戸端沙耶香	光組（4歳児）の運営・管理・指導。一時預かり担当。器楽指導補助。体操指導補助。	光 4歳児
保育士 (副主任)	畠中 志帆	3歳未満児の運営・管理・指導。器楽指導補助。体操指導補助。	未満児
保育士	佐藤 詠美	りす組（1歳児）の運営・管理・指導。一時預かり担当。	りす 1歳児
保育士 乳児保育リーダー	佐々木奈々	ひよこ組（0歳児）の運営・管理・指導。一時預かり担当。	ひよこ 0歳児
保育士 専門リーダー	新田 梨奈	めばえ組（2歳児）の運営・管理・指導。一時預かり担当。	めばえ 2歳児
保育士 幼児教育リーダー	菊池 羅菜	星組（3歳児）の運営・管理・指導。一時預かり担当。器楽指導補助。体操指導補助。	星 3歳児
准看護師 (保育士)	苅谷奈美枝	ひよこ組（0歳児）の運営・管理・指導の補助。園児の健康管理。職員の健康管理。一時預かり担当。送迎バス管理補助。	ひよこ 0歳児
療育支援員	越善 美紀	特別に支援を要する子どもへの対応（虹組補助）。特別支援担当。	以上児 補助

## 平成30年度 職務分担表

大畑中央保育園

N○2

職名	氏名	職務分担事項	担任
保育補助	久野華乃子	ひよこ組（0歳児）の運営・管理・指導の補助。	ひよこ 0歳児
保育補助	石倉美穂子	りす組（1歳児）の運営・管理・指導。	りす 1歳児
子育て支援員	官本 博美	子育て支援事業立案責任者。	
子育て支援員	佐藤志津香	子育て支援事業立案。	
事務主任	工藤 直子	会計管理（給与、その他）。法人・施設の事務管理。給食関係帳簿の記帳整理。予算の編成と調整配分補佐。	
栄養士	越後 千穂	献立表の作成責任者及び調理の実施。炊具食器の保管・管理責任者。給食会議の記録。給食業務の管理。給食に関する衛生管理。食中毒の防止。非常食管理。	
調理士	木村 砂織	献立表の作成及び調理の実施。炊具食器の保管・管理。給食関係帳簿の記帳整理。給食会議の記録。給食業務の管理。	
調理士	佐々木洋子	献立表の作成及び調理の実施。炊具食器の保管・管理。給食会議の記帳整理。給食会議の記録。給食業務の管理。	
用務員	上代 利一	園の運営管理上の業務。園舎内外の整理・清掃・美化。施設の保安・点検。災害時における避難担当。	
委託運転手	石村 春年	送迎バスの運転と管理	
嘱託医師 (内科)	前田 尚孝	園児の健康診断年2回、並びに保健助言。	
嘱託医師 (歯科)	上条 守夫	園児の健康診断年2回、並びに保健助言。	

# 平成30年度 保育課程

大畠中央保育園

園長 宮木 則男

## 1 保育課程編成の基本的な考え方

保育の質の向上を目指すためには、保育指針に従って全職員で保育方針、目標について共通理解を持ち、それに基づき計画的に保育を実施していくことが大切である。そのため、平成29年度の計画を見直し保護者から各行事後のアンケート等を参考に、全職員（子育て支援事業も含めて）で組織的に取り組み今年度の保育課程を編成した。

今年度の保育課程編成については我々職員が昨年度の保育課題（昨年度実践後の改善点・課題・他）を見直し、本園の実態等を考慮し、どのようにすれば子ども達一人一人を望ましい方向に導くことができるのか（非認知能力の育成）具体的に考えてみた。また、保育所型認定子ども園への移行の初年度を考えると遊びを通しての幼児教育を主に実践し、各年齢に相応しい生活面・体力面での基礎・基本を身につけさせたい。

## 2 次年度の保育経営の方針予定

### (1) 非認知能力の育成を目指した保育園でありたい。

子どもは生まれてから周囲の世界に適応しながら生きていくことを学び、まず最初に基本的な生活習慣を身に付けていくと思う。その中で自分というものを意識し始めて、他との交流を図り、時にはぶつかり合ったりしながら成長していくと考えられる。そういう中で、自分の能力に自信を持ってどんなことにも挑戦したり、あるいは自分と他者との関わりの中で自分をコントロールしながら成長すると思う。そのように様々な経験を通して、非認知能力を育てていくことが重要である。

### (2) 小学校とつながりを大切にする保育園にしたい。

小学校へ夢を持って入学できる保育園を目指し、体力の向上、文字のおけいこ（文字あそび）、数のおけいこ（数あそび）、英語教室、音楽教室、読み聞かせ、その他を計画的に取り組み、スムーズに小学校教育に入れるように未満児から組織的な取り組みをしたい。そのためには、各年齢に応じた集中力を身につけさせ、職員の積極的なアイデアが必要である。

### (3) 全力で取り組む活気ある保育園を目指したい。

基本的には、職員は子ども達・保護者に教えられ専門職として成長すると考えてほしい。子ども達にとって「楽しい保育園」であるためには、保育士（職員）と子ども達との好ましい人間関係の築くことが大切である。そのためには、保育活動の充実が必要であり、行事などの計画、実践、評価・反省、改善することが活気ある保育園につながると思う。

また、子ども達の一人一人の良さを認め、褒め、次のステップに希望を持たせて、時には、駄目なことは駄目であると毅然と言える厳しさ、時には優しく見守ってやることも活気ある保育園に結びつくと考えている。

#### (4) 「プロ」としての高い意識を持った職員集団を目指したい。

子ども達にとっては、私たちの存在は非常に大きい存在である。そのためには、一つ一つの取り組みを大切にし、目標（課題）を達成するために、様々なアイデアを出しながら保育用具等の工夫を図り、いかに子ども達を集中させるかが非常に大切になる。子ども達にとって魅力のある職員を目指し、「プロ」としての高い専門性（意識）を持ち続け常に共通した意識を持った（一枚岩：強固な団結・組織）職員集団であってほしい。

#### (5) 夢と希望に満ちあふれた明るい保育園を目指したい。

保育園は、子ども達にとって「楽しい場所」でなければならない。その楽しさは、新しいことを知り、経験し、友達や職員に自分を認めてもらう楽しさ、仲間と共に遊ぶ楽しさを感じる楽しさであると思う。また、職員同士が互いに信頼できる人間関係が確立され、生き甲斐を持って仕事ができる環境づくりに努める。

#### (6) 保護者や地域の人々の信頼に応える保育園を目指したい。

理不尽な保護者への対応に追われることもあるが、職員の熱意ある対応や緻密な保育実践が保護者の意識を変えることに繋がると考える。そのような積み重ねがあると、保護者や地域の人々は、これまで以上に担任や保育園に協力すると思う。

保護者の目は鋭く、厳しさや、温かさもあると思う。保護者は、子どもを持つ親としての経験、苦労、熱意は私たちを凌ぐものがある。我が子を伸ばしたいと願う保護者の願いに応える保育園でありたい。

そのためには、認証評価制度の導入や保育園からの様々な情報発信（ホームページの更新、保育園だより・その他）に努めると共に、保育園の評価をしてもらう事も必要であり、地域への行事等へ積極的に参加し地域に開かれた取り組みを実践していくたい。

### 3 保育課題

- (1) 心を育てるレベルの高い保育の充実（年齢応じた保育活動、その他）
- (2) 生活面における基礎・基本の充実（思いやりのある言動、規範意識の高揚、配慮の必要な園児への支援、その他）

## 4 課題解決のための具体目標（重点項目）

### （1）「心を育てる保育の充実」・・・全保育活動を通して

- ①保育のねらいを明確にし、乳幼児期の発達の特性や連続性を踏まえ、時には柔軟性を持って保育を展開し子ども達の心へ訴えるような取り組みに努める。
- ②「体操教室」「英語教室」「読み聞かせ」などの外部講師の子ども達への場面に応じた言葉掛けなどを参考にし、日常の保育活動に心を育てるような工夫を図ることに心がける。

### （2）「生活面における基礎・基本(乳幼児期の人格形成の基礎作り)の充実」

- ①一人一人の子どもの発達過程として理解し、人間形成の最も基盤となる時期であることを十分認識する。
- ②全保育活動を通して子どもの良さを認め、褒め、成就感を持つことができるよう工夫し、時には駄目なことは駄目と厳しさも持しながら、活気ある保育園づくりに努める。

## 5 保育理念・保育指針・保育目標

### （1）保育理念

養護及び教育を一体的に行い、子どもの健やかな育ちを支援し、地域の人々との交流を図り、福祉の増進を図る。

### （2）保育指針

- ※子どもの心を育てることを念頭に入れながら次の指針を大切にする。
- ・子どもの個性を大切にし、安心して過ごせる保育環境を整備する。
  - ・地域の人々と関わる中で集団行動のマナーを培う。
  - ・一人ひとりの保護者の思いを受け止め支援する。
  - ・発達に応じた活動ができるよう健康な心身の育成を図る。
  - ・大人や子どもの関わりの中で信頼関係をつくる。
  - ・人の話を聞いたり、自分の思いを伝える中で考える力を育てる。

### （3）保育目標

・頑張る子（知育）・仲良くする子（德育）・いっぱい遊ぶ子（体育）

## 保育計画一覧表(平成30年度)

◎保育目標		・頑張る子(知育)　・仲良くする子(徳育)			
◎等達過程とクラスの相関性		内 容		対応	
⑤等年齢別に生活を送るが成長段階を踏まえます。		⑥職員は子どもの人権を守秘法的、制度的に保護され、その他の権利を保障する。		○地域の行事に参加する。○年齢別に生活を送るが成長段階を踏まえます。	
子どもの 保育目標	達成段階	0歳児	個々の生活リズムを整え、基本的な生活習慣を養う。	1歳児	安心できる環境下で自己表現する。
生命の 保持	心身の健康	0歳児	個々の生活リズムを整え、基本的な生活習慣を養う。	1歳児	心身ともに安全な環境の中で体を動かすに長い時間で友達と一緒に遊ぶ。
情緒の 安定	人間関係	0歳児	心身ともに安全な環境の中で体を動かすに長い時間で友達と一緒に遊ぶ。	1歳児	心身ともに安全な環境の中で友達と一緒に遊ぶ。
教育	健 康	0歳児	心身の状態を細かく観察しし工夫する。	1歳児	特定の保育士との信頼関係が更によく深まると感じる。
	言葉	0歳児	発達過程などを的確に把握しがけ心地よい発音を行う。	1歳児	スキンシップにより、保育士とともに信頼感を得る。
	表現	0歳児	安心できる環境の中で食事、遊びをする。	1歳児	保育士との関係のもとで、身の回りの物を育む。
	食生活	0歳児	保育士の愛情豊かな生活が豊かにする。	1歳児	保育士や友だちによって心地よい生活をする。
環境管理	健 康	0歳児	保育士の下で安全な環境を育む。	1歳児	保育士と一緒に手遊びをする。
安全管理	言葉	0歳児	発音に応答したりして発語の意味を理解する。	1歳児	言葉によるコミュニケーションを育む。
事故防止	表現	0歳児	適切な援助による意欲を育む。	1歳児	様々な食べ物に対する意欲を育む。
保育支援	健 康	0歳児	・健常な发育発達状況の把握・心身状態や家庭生活、養育状態の把握	1歳児	・内科、歯科検診
環境管理	衛 生	0歳児	・施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒、安全管理及び自主点検	1歳児	・園外研修・園内研修(保健室、ケース会議)
安全管理	事故防止	0歳児	・毎月の避難訓練(火災、地震、不審者対応)・消防署査察、防火設備点検、消防訓練	1歳児	・文書のおけいこ(文字遊び)、数のおり組み
保育支援	地域支援	0歳児	・育児相談事業・実習生、職場体験、ボランティアの受け入れ	1歳児	・老人ホーム等、福祉施設での、遊戲・マーチング等の発表



# 職員研修計画

大畠中央保育園

## 1. 目的

平成30年4月1日から適用される保育所保育指針総則には、「保育所における保育士は、保育所の役割及び機能が發揮されるように、倫理観に裏付けられた専門的知識、技術及び判断をもって、子どもの保育するとともに、子どもの保護者に対する保育に関する指導を行うものであり、その職務を遂行するための専門性の向上に絶えず努めなければならない。」と規定されている。保育所（保育園）に求められている質の高い保育・多様な保育ニーズへの対応・子育て支援サービスに、職員の自己学習や保育活動での経験及び研修を通して深められた知識や技術並びに人間性が実践として活かされるように常に自己研鑽に努めることが必要である。給食関係者、用務員も含め資質向上のために職員研修を定期的に実施する。

## 2. 研修項目

### (1) 園内研修

<目的> 職員間のコミュニケーションを活発にし、知識・情報を共有化する。

<内容> ① 研修内容のフィードバックを行う。

② 文字遊び、数字遊び・おけいこや体操、マーチング、その他の日常の園児の様子や保護者への対応について、情報を共有化し指導のあり方などについて共通理解を図る場とする。

③ 各種マニュアルや全職員共通理解資料等を熟読する。

④ 園外研修などの報告の場とする。

⑤ 実技研修（体操、マーチング）を実施する。

### (2) 園外研修

<目的> 全国保育連合会、青森県保育連合会の主催やむつ支部主催の研修会等へ参加することにより保育士としてのより高い知識や経験、技術を身につける。

<内容> ① むつ支部の各部会（施設長部会～用務員部会）に参加し、他の園の情報や、日常の保育活動などについて交換することにより、保育環境や保育方法などについて見直しを図る機会とする。

② 研修会に参加することにより年齢・月齢に応じた具体的実践方法などについて全職員で協議したり年齢別で確認できる場とする。

③ 保育所保育指針などについての情報情報を研修会に参加した職員が伝達する場とする。

④ 栄養士、調理員については、支部部会への参加も含め、県支部主催の食育に関する研修会に参加し、日常の仕事に活かすようとする。

⑤ 事務担当者については、経理事務などの研修会に参加し園長の指導管理のもと、事務体制の確立と資金管理及び補助金業務に関する知識を取得するための研修に励むようとする。

## 3. 研修内容

研修項目	研修内容
園内研修	毎月実施し、厚生省や県関係、市関係の情報を確認したり、日常の保育活動の見直しを図る
園外研修	各種研修会（全国、県、市の開催研修）に参加することにより、業務内容に関する高い知識や経験、技術を身につける（各種開催案内を参考に参加計画を作成）。

## 大畠中央保育園「健康診断・身体測定」実施計画

平成30年4月1日

子ども達の健やかな成長は、保護者はもちろん社会全体の願いである。人々のライフスタイルが変化するとともに、子どもの健康問題も大きく変化してきている現在、保育活動の中で子ども達の健康を保つことは保育における最も重要な課題である。

従って、保育士・教諭は常に子ども達の健康や発育状態を把握することに努めることを忘れてはならない。

### 1. 内科検診

年2回園医が来園し全園児に視診、聴診、触診を行い園児に異常がないか診察する。

○検診の結果は「健康診断票」に記入し、診察結果を保護者に知らせる。

○異常が発見された場合には、病院で治療・検査してもらうよう保護者に連絡する。

○病院での治療・検査結果を保護者から保育園に連絡してもらうよう依頼する。

### 2. 歯科検診

年2回園医が来園し全園児に歯並び、噛み合わせ、虫歯、口腔疾患、口腔異常を診察する。

○検診の結果は「健康診断票」に記入し、診察結果を保護者に知らせる。

○異常が発見された場合には、歯科医院で治療・検査してもらうよう保護者に連絡する。

○歯科医院での治療・検査結果を保護者から保育園に連絡してもらうよう依頼する。

### 3. 身体測定

園児の健康状態、発育状態を把握するために月1回の体重・身長測定を実施する。

月	実施内容		実施内容
4月	身体測定	10月	内科検診・歯科検診・身体測定
5月	内科検診・身体測定	11月	身体測定
6月	歯科検診・身体測定	12月	身体測定
7月	身体測定	1月	身体測定
8月	身体測定	2月	身体測定
9月	身体測定	3月	身体測定

# 大畠中央保育園

## 防火管理者規定及び任務分担表

防火管理者 園長 宮木 則男

### ※火氣使用設備器具

(使用箇所・器具の点検、検査と管理)

○ 調理室

◎ 責任者氏名

◎ 越後千穂・木村砂織  
佐々木洋子

○ 事務室

◎ 宮木則男・菅原美幸  
工藤直子

○ 保育室

乳児室(0歳児、ひよこ組) : ◎ 佐々木奈々、苅谷奈美枝  
久野華乃子、宮木みつ子

ほふく室(1歳児、りす組) : ◎ 青山睦子、佐藤詠美

保育室(2歳児、めばえ組) : ◎ 宮下弘子、新田梨奈

保育室(3歳児、星組) : ◎ 菊池羅菜

保育室(4歳児、光組) : ◎ 井戸端沙耶香

保育室(5歳児、虹組) : ◎ 北上あゆ子、越善美紀

○ 遊戯室

子育て支援室 : ◎ 宮本博美・佐藤志津香  
◎ 宮木みつ子・上代利一

○ 休憩室

◎ 宮木みつ子・上代利一

○ ホームタンク

◎ 越後千穂・木村沙織

### ※建築物、電気関係、機械設備

○ 建築物(破損箇所の調査)

◎ 宮木則男・上代利一

○ 電気設備(不良配線等の調査)

◎ 宮木則男・上代利一

### ※消防警報設備

○ 消火器、火災報知器の点検整備

◎ 宮木則男・上代利一

### ※避難誘導設備

○ 誘導灯、除雪、非常口の点検整備

◎ 宮木則男・上代利一

○ 避難通路の確保

◎ 菅原美幸

★下欄の担当者は、新規採用または変更

# 避難訓練実施計画

大畠中央保育園

保育活動中の災害は、園児たちの生命に危険を及ぼす可能性が高い。本園は海岸に近いため津波、川の増水による災害も考えられる。園児たちは主体的判断力に欠けているため、避難訓練(火災・地震・大津波・増水・その他)を毎月実施し、火災や津波などに対する危機意識を高めたいと考えている。

## 1. 日常の点検活動

- (1) 火災報知機、消火器、非常灯、園内放送機器の点検を毎月行う。
- (2) 園舎内の防火管理者を決め、担当箇所の点検を避難訓練実施日に行う。
- (3) 点検の結果、修理などが必要な場合は園長に報告する。
- (4) 大津波警報などで避難する場合の避難道（大畠小学校の上の空き地や大畠中学校までの避難道）の安全確認を毎月実施する。
- (5) 不審者対応のために日常から施錠などの確認をする。

## 2. 火災発見、地震・大津波警報、川の増水、不審者への対応などによる一次避難

### (1) 火災発見の場合

- ①火災を想定し、発見者は、消火器を使用し初期消火に当たると同時に、大声で「火災発生」を呼称し、火災報知機を作動させる。
- ②事務室では火災状況を把握し退避経路などを放送で指示し、消防署へ通報する。
- ③保育室及び遊戯室にいる職員は、園児を直ちに園庭に避難させる。
- ④全員避難後に残留園児がないことを確認する。

### (2) 地震・大津波警報の場合

- ①地震による揺れを感じたことを想定し、放送で指示し、保育室や遊戯室にいる場合は頭部を保護させながら安全確保できる場所で待機する。
- ②揺れがおさまったことを想定し、職員の指示で、非常口から園庭に避難する。
- ③事務室では、テレビやラジオなどで情報収集し「大津波警報」が発令された場合を想定し、大畠小の上の空き地や大畠中学校への避難を指示する。
- ④大津波到達予想時刻などによっては、送迎用バスなどを使用し移動することも考えられるので計画の中にいれる。（玄関に避難場所などの張り紙や携帯電話等を使用し保護者への連絡を確実に実施する。）

### (3) 川の増水の場合

- ①大畠川の増水を想定した避難訓練（避難勧告の想定）は、事務室から放送で指示し川から遠い高台（大畠中学校）へ送迎用バスなどを使用し移動（避難）する。
- ②時間的に余裕がない場合も想定し、職員の自家用車で避難することも検討する。日常から園児の配車と移動経路の確認をする。
- ③玄関に避難場所などの張り紙や携帯電話等を使用し保護者への連絡を確実に実施できるようにする。

### (4) 不審者対応の場合

- ①園内に不審者が侵入した場合の避難と対処の仕方について理解し、危険回避できるようになる。
- ②訓練は、不審者（想定）役を ALSOK 職員へ依頼し、非常放送及び連絡（合言葉）を正確に聞き取り速やかに避難できようとする。

### 3. 避難訓練実施予定(年間計画)

月	実施内容	月	実施内容
4	火災を想定した避難訓練	10	地震、火災を想定した避難訓練
5	地震(大津波)を想定した避難訓練	11	火災を想定した避難訓練
6	総合避難訓練(火災、通報)	12	地震を想定した避難訓練
7	地震(大津波)を想定した避難訓練	1	火災を想定した避難訓練
8	浸水を想定した避難訓練	2	地震を想定した避難訓練
9	火災を想定した避難訓練 不審者対応した避難訓練	3	火災を想定した避難訓練

## ◎ねらい

- ・野菜づくりやクッキング活動を通して、収穫の喜びを味わい、食材に親しみや興味を持つ。
- ・「食」に携わるすべての人に感謝する心を育み、食べ物の大切さを知る。
- ・「食べることの大切さ」、「みんなで食べる楽しさ」を感じる。

## ◎保育所における食育の目標

(楽しく食べる子どもに～保育所における食育に関する指針 厚生労働省より抜粋・編集)

「食を営む力」は生涯にわたって育成されるものであり、その基礎を培うことが乳幼児期の目標。

- ・めざす子どもの姿～楽しく食べる子ども～

**①お腹がすくリズムのもてる子ども**

⇒たくさんあそび、体験し、食事の時間になつたら「お腹がすいた」と感じられるような生活リズムを送る。自分自身で空腹感を満たす適量がわかる。

**②食べたいもの、好きなものが増える子ども**

⇒栽培や収穫した物を調理する体験などを通して、五感が育ち、さまざまな食べ物に興味や関心を持つ。さらに、自然の恵みに感謝する気持ちが芽生える。

**③一緒に食べたい人がいる子ども**

⇒友達や保育者と食事の時間を過ごすことで、誰かといっしょに食べる楽しさを実感し、食べることへの意欲や、人に対する愛情、信頼感が育つ。

**④食事づくり、準備にかかわる子ども**

⇒給食の下ごしらえやクッキング保育などを通して、食べることと食事作りや食事の場を準備する大切さとが結びつき、食べる喜び（生きる喜び）に気づく。

**⑤食べ物を話題にする子ども**

⇒食材の生産者や食事を作る人と身近にふれあうことで、栽培や食材のいのちにも関心が高まり、食べ物についての話題で会話をするようになる。

## ◎年齢別目標

目標		内容
ひよこ組 (0歳児)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの生活リズムを重視して、食欲・睡眠・排泄などの欲求を満たしていく。</li> <li>・安心できる保育士と楽しい雰囲気の中で、喜んで食事ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの成長・発達状態・生活のリズムに留意しながら、食品の種類・大きさ・固さなどを配慮する。</li> </ul>
りす組 (1歳児)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい雰囲気の中で少しずつ、いろいろな食べ物に関心をもつようになる。</li> <li>・よく遊び、よく眠り、食事を楽しむ。</li> <li>・自我の芽生えを大切にし、自分で食べようとする意欲を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな食品や食材に興味がもてるような言葉掛けを行う。</li> <li>・咀嚼の大切さを伝える。</li> <li>・おなかがすくリズムを大切にし、食べたいと思う気持ちを育てる。</li> </ul>
めばえ組 (2歳児)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい雰囲気の中で、いろいろな種類の食材や料理を喜んで食べる。</li> <li>・自分で食事をしようとする気持ちをもつ。</li> <li>・安定した生活リズムを身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな食品の味があることを伝えていく。</li> <li>・食事とともに食事時間の中での会話を楽しめるようにする。</li> <li>・スプーンやフォークの持ち方、手拭きや口拭きが習慣づくよう介助する。</li> </ul>

ほし組 (3歳児)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士や友だちと一緒に食べる楽しさを知る。</li> <li>・さまざまな食べ物を進んで食べようとする。</li> <li>・調理する人に関心を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の栽培を通して、食材についての関心がもてるよう配慮する。</li> <li>・食事をとる際の姿勢や箸の使い方などを指導する。</li> </ul>
ひかり組 (4歳児)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと一緒に食べる楽しさを感じる。</li> <li>・食べ方や食事のマナーを身につける。</li> <li>・調理する人に興味・関心をもち、関わろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の栽培を通して、食材についての関心をもち、命の大切さや食事に対し、感謝することを伝えていく。</li> <li>・食事のマナーを指導する。</li> </ul>
にじ組 (5歳児)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと一緒に食べる楽しさを味わいながら、食事にふさわしい環境を考えて、落ち着いた雰囲気で食事をする。</li> <li>・食べ物と体の関係に興味をもつ。</li> <li>・食材や食事を作る人に関心をもち、感謝の気持ちをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の成長、収穫を楽しみにして進んで世話をする。また、料理活動を楽しみ、食への関心をもてるようにする。</li> <li>・小学校に向け、適切な時間内で、落ち着いて食事ができるよう指導する。</li> </ul>

## ◎畠活動・クッキング活動

	クッキング活動	畠活動
4月		
5月		野菜の種まき…じゃがいも・大根・とうもろこし・枝豆・ほうれん草苗植え …ミニトマト・きゅうり
6月		苗植え…さつまいも 収穫…ほうれん草
7月		収穫…ミニトマト・きゅうり・大根
8月		収穫…じゃがいも
9月	クッキング…いもピザ作り（以上児）	収穫…とうもろこし・枝豆 とうもろこしの皮むき・枝豆のもぎとり作業
10月		収穫…さつまいも
11月	クッキング…スイートポテト作り（以上児）	
12月	もちつき会	
1月		
2月		
3月		

## アレルギー体質園児の 給食事故防止のために

1. 保護者からのアレルギー診断書の提出
2. 保護者からの代替え食の承諾（献立表配布時）
3. 当日の出欠状況の報告（給食室への連絡）
4. アレルギー食材を除去した調理（給食室）

### 5. 給食室での配膳準備段階で

- ①アレルギーのチェック表の記入
- ②別食器（ピンク）の使用
- ③お盆を使用しての配膳
- ④食札（園児名）の貼付

### 6. クラスでの配膳

- ①チェック表の有無の確認をする。
- ②アレルギー対応の園児の配膳は、最後にする。
- ③チェック表は、配膳後に押印する。（事務的な押印にならないこと）

※通常と違う動きや変化の時は、必ず給食室に連絡し、確認すること。

※食前投薬をした職員が配膳・チェック表の押印をする。

### 事故発生時の対応

1. 主任、園長に報告する。
2. 園児の体調を確認する。症状に応じた対応を検討する。
3. 保護者への連絡。
4. 繼続して園児の体調の変化を見していく。
5. 事故発生に至った原因を把握し、今後の事故防止について対策を取る。

保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表 (食物アレルギー・アナフィラキシー)

名前 男・女 年 生 年 月 日 (歳 ケ月)

組

提出日 年 月 日

1 病型・治療		2 保育所での生活上の留意点	
<b>A 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載)</b> 1 食物アレルギーの関与する乳児性アトピー性皮膚炎 2 即時型 3 その他 (新生児消化器症状・口腔アレルギー症候群・ 食物依存性運動誘発アナフィラキシー・その他の アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合はのみ記載))		<b>A 給食・離乳食</b> 1 管理不要 2 保護者と相談し決定	
<b>B アナフィラキシー病型 (医薬品・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・ ラテックスアレルギー・ ラテックスアレルギー)</b>		<b>B アレルギー用調整粉乳</b> 1 不要 2 必要 下記該当ミルクに○、又は( )に記入 ミルキー・ニュー MA-1・MA-mi・ペプティエット エレンタルフォーミュラ その他( )	
<b>C 原因食物・除去根拠</b> 該当する食品の番号に○をし、かつく > 内に診断根拠を記載		<b>C 食物・食材を扱う活動</b> 1 配慮不要 2 保護者と相談し決定	
<b>D 除去根拠</b> (該当するもの全てを < > < > 内に番号を記載 ①明らかな症状の既往 ②食物興奮試験陽性 ③IgE 抗体等検査結果陽性 ④未採取		<b>D 宿泊を伴う園外活動</b> 1 配慮不要 2 食事やイベントの際に配慮が必要	
<b>E 除去食品で摂取不可能なもの</b> 病型・治療のCで除去の際に摂取不可能なものに○		<b>E 除去食品で摂取不可能なもの</b> 1 鶏卵 : 2 牛乳・乳製品 : 乳糖 3 小麦 : 醤油・酢・麦茶 4 ソバ : 大豆油・醤油・味噌 5 ピーナッツ : ゴマ油 6 大豆 : カツオだし・いりこだし 7 ゴマ : エキス 8 ナッツ類 : 9 甲殻類 : 10 軟体類・貝類 * : 11 魚類 : 12 魚類 : 13 肉類 : 14 果物類 : 15 その他 : * 摂取は( )の中に具体的に記載すること。	
<b>F その他、配慮・管理事項 (自由記載)</b>		<b>F その他、配慮・管理事項 (自由記載)</b> 記載日 年 月 日 医師名 (印)	
<b>D 緊急時に備えた処方箋</b> 1 内服薬 (抗ヒスタミン薬、ステロイド薬) 2 アドレナリン自己注射薬 (エビペン®) 3 その他 ( )		<b>D 緊急時に備えた処方箋</b> 医療機関名	

アナフィラキシー (あり・なし)  
食物アレルギー (あり・なし)

# アレルギーチェック表

平成〇年〇月  
大畠中央保育園

〇組      ○○くん

☆食物アレルギー      そば・生卵

	献立	除去・代替え	給食室	保育室
1日				
2日				
3日				
4日				
5日				
6日				
7日				
8日				
9日				
10日				
11日				
12日				
13日				
14日				
15日				
16日				
17日				
18日				
19日				
20日				
21日				
22日				
23日				
24日				
25日				
26日				
27日				
28日				
29日				
30日				
31日				

○○くんの保護者様

平成〇年〇月〇日

大畠中央保育園

献立表ですが、○くんの食物アレルギーによる除去食にマーカーでラインを引きました。  
2枚目以降にレシピがあり、その中に除去や代替えなどを示してあります。  
こちらを確認していただき、その内容でよろしければサインを記入し、提出してください。  
(お手数をおかけしますが、〇月〇日までにお願いします。)  
また、毎月この確認を行いたいと思いますので、よろしくお願ひします。  
不明な点などございましたら、事務室までご連絡ください。  
また、事情により一部変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

名前

印

## ボランティア受入れについて（計画）

### 1. 目的

- (1) 将来、保育士を目指そうとしている中学生、高校生、短大生、専門学校生に呼びかけ、実際に子ども達との関わりを通して意識の高揚を図る。
- (2) 本園の子ども達が、保育士以外に中学生、高校生、短大生、専門学校生とのふれあいの機会とする。

### 2. 実施期間

平成30年8月～9月

### 3. 実施内容

※各クラスの保育活動に参加する。

- ・自由保育
- ・合同保育
- ・体操教室
- ・文字、数のおけいこ（遊び）
- ・英語教室
- ・マーチング教室
- ・その他（各種行事）

### 4. その他

※ 実際に、保育の現場で仕事を体験することができる良い機会とするために、事前に全職員で役割分担などについて十分に話し合い共通理解を図る。